夕刊
五月十七日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八〇●五六五番

歌ものがたり

音馬實藏

ほととぎす汝も深山を出でていなばいとど語らふ友やなからむ

深草の里は昔から瓦燒に名を得てゐた。大きなけだものが、うづくまつたやうな瓦燒竈から、白い煙が竹林を縫ふて立ちまよふ寂しさは、この里に漸く住みなれられた、元政上人にとつても感深いものがあつたと思はれる。

すく〳〵とのびた太い苦竹に、からんで咲いたあのうす紫の花が揺れて、每に五月の雨が訪れる度には殊更にその白い煙が目につき、どんよりと曇つた空に、低く重たく棚引く様は、ものかなしいものがある。弓張月の影くらいそんな頃を、上人の草庵からは程遠からぬ深祥寺の法華堂に誰が捧げるか。御明のほのかに見ゆなり、見ゆなんだりするのも物を思はす種となる。

時代の御天子様が鎭まり給ふ御陵墓の様を、まのあたりにしては何としても涙なしには居られない。思へば一天萬乘の尊貴を以てしても、つたなき人の世の果報に泣き給ふ事、歴史に殊に興味を持つてゐられた上人の心中に、ありありと蘇つて來るのであつた。

机にもたれて様々思ひふけり給ふ折柄に、空の奥にかく姿こそは見ゐね、一聲三聲となき過ぎてゆくほととぎすがある。あゝほととぎすが鳴く。里へ出てゆくのであらうか。其聲をきいてこの程深草を發足して、關東の名だたる檀林へと志してわがもとを去つて行た、一人の弟子の上が思ひ出さるゝのであつた。

人は山住みの靜けさになれては、人里が戀しくなるものらしい。人は浮雲のやうに、所に定住することをせぬ。山林守拙のわが道の寂しさに、居たまらなくなつた弟子の一人は、華かな刺激を求めて關東の檀林へと旅立つて行つた。しかしほんとうに魂さへ合く語り得る人は、そんなにザラにこの世にゐるものでない。いづれはわがもとに歸り來る日のあるべきを信ずるが故に、わざと引留めはせなかつた。あれもこれも若い日の一時の夢と、語つてくれる日の近からんを祈るめで一つぱいである。さて到着の後は懈怠の心なく、佛道の修行に精進してくれるやうにと、それのみを念ずるばかりなのである。

×

東寺の道のさかりなる頃つとめて見にいきてくれにかへりゐる鴨川をわたるとて

夏の日のあつさも知らずあさ川やゆう川わたる道のゆききは。

慶安元年上人廿六歳、妙顯寺の日豐上人に就て薙染せらるゝ迄、上人の御兩親は東寺に程近い九條の邊に住まつてゐられたが、朝夕定省に不便が多いので、妙顯寺に近い一條のあたりに寓居をしつらへて、こゝに御移し申上げて老養怠りなかつた。

（終）

大山にて

木村多加治

○谷川の鳴瀬に垂るる白薔薇に飛沫打ちつつ花片の散る

○突出での阿夫利嶺に登り得て見晴す空は白鳥の舞ふ

○雲斷れて初夏の陽射しは富士嶺の斑雪波照り返しをり

○見遙す三原の山は煙かぶり眞澄い晴るは大山の嶺

○だらだれの道は町までつゞくらしほとりすほへる道標指す

その日〳〵

5月18日

△杉山流鍼術の祖杉山和一歿す（元祿七）△歌人紀貫之歿す（天慶九）△錬岳天覽の始（明治二）

◎英雄の眞に偉大な點はその曾て一度も絕望しない事である　ジェームス・ムンソン

講談　夜嵐お絹

〔70〕　悟道軒圓玉　筒井直衞畫

書いた狂言

四挺の駕籠は鮫洲の町を距れ、淺草猿若町に戻る、品川の手前まで來た時に左に切れた田圃道、品川から淺草までは家續き、此の道筋には草原などはない、駕籠は雨を淩ぐ覆ひがかゝり殊に夜の事外はよく見ゐぬが、ガアガアガアと蛙の鳴き聲は町でない事は判る

おきぬは不審を抱き

『駕丁さん、道が違つたやうだねえ、訝しいねえ』

『イエ大丈夫でございます品川の裏道を參ります』

『オヤさう、何んだか道が違つてゐるやうに思ふが……』

『御心配なさいますナ』

と駕籠は飛ぶやうに行く

やがて此の駕籠は門構への立派な家の前にピッタリと止つた。

此の時先のかごから出たは常陸屋源兵ヱ

『若い衆、その女ののつたかごは庭まで持ち込め』

『畏まりました』

おきぬのかごは此の住ひの門を入り庭に運ばれた

『そこで宜い、さアおきぬ出ろ』

と云はれておきぬはかごから出、四邊を見廻し

『旦那、茲は何處』

『茲は俺の別莊だ、今夜此家へ泊り明日猿若町へ歸るが宜かろう、さア此方へ來な』

縁から座敷に通る、おきぬは何も目を配ると庭も廣く時代のついた石燈籠に燈火が入つてその光りがウッスリと庭を照す、これが頗る雅致がある、周圍は鬱蒼と樹木は生ひ茂り　ボーボーと梟が鳴いてゐる、江戶に近い所にどうして斯んな閑靜な土地があるかとおきぬは吃驚した。

其内に豫て言ひつけたと見えて牡丹の繪を描いた蠟燭に灯を點じて女中が持ち來、間もなく酒肴がそれに並ぶ、時　幇間の三樂が

『旦那　初めて御別莊拜見致しましたが立派でございますナ、それに庭の手入が行き届いて居ります、大分お廣いやうでございますナ』

『廣は二百坪もあるかナ』

『ヘエ！さうでございましよう、變つた石燈らうがございますが』

『それに見ゐるは雪見形、それから左にあるのは若王子、その次は濡れ鷺だ』

『ヘエ、さうでございますか』

『彼のことゝてよく見らまいがあの燈らうには叡山苔がついてゐる』

『何んでございます叡山苔とは』

『比叡山にある苔の事さ』

『ヘエー、あの山からお取寄せになりましたか、贅澤だなア、旦さんその緣に出てお庭を御覽なさいまし』

云はれておきぬが

『三樂さんわたしはお庭拜見　今日は旦那と一緒に來たんぢやないンだよ、モシ常陸屋、旦那何んだか今夜の様子が怪訝いわ、猿若町へ歸ると言つて斯んな所へ連れ込むとは　お前さんは狂言を書いたネ、何うぞ歸しておくんなさい、斯んな所には居られないよ』

と言ひ捨てゝズイと立つを、裾を押へた常陸屋源兵ヱ

『まア下にゐろ、云つて聞かせる事がある』

と云ひつゝズイと摩り寄る

其時岩淵鐵平が

『おきぬどの茲へ御身を伴ひ込んだは仔細のある事、それは旦那から申すであらう、茲に來た以上は遁れる事は相成るまい、依つて旦那の仰せに從ふが宜い』

おきぬはこれを聞て

『お前さん方は共謀むだネ、誰が斯んな芝居を書いたんだね、川口さんが作者ならば古風な筋は書くまいと思ふが一体作者は誰だね』

言ふと源兵ヱが

『その創作者は俺だ、そころで此芝居ではお前が立お山、俺は敵役三樂が三枚目、それに岩淵先生も先づ敵であらう、乃で今こゝへ座頭を出すから、それに會つてくれウイリアムさん』

と呼んだ

此時サラリと襖を開いてヌツとそれへ現はれたは米國人のウイリアムサダン

小兒科・內科
酒井醫院
入院隨時
平市南町（電五五番）
醫學博士　酒井保

田毎のみつまめ
白蜜と赤蜜
あんみつ
苺ミルク
町田　電632

稻荷丸　皇漢オルモン藥
キキメ
◆腹痛……には三粒デキキマス
◆胃痙攣……ムナサキ痛みには奇妙ニキヽマス
◆小兒の諸病……一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康体となる
◆心臟病……少しの運動にもイキ切れドウキの高い方御實驗下さい
◆自動車醉……ニハ乘車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン
◆肺炎……一粒腹中に入れば心臟を强め精力活力を增加す
定價
百十五粒―五十錢
二百七拾粒―壹圓
五百五拾粒―貳圓五十錢
本舖　茨城縣笠間町（稻荷神社前）　イナリ丸　金子製藥所
―代理店―
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番
（有名藥局にあり）

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

男女車掌募集（三名）
1、年齡十六才ヨリ十九才マデ
2、未經驗者ニテモ可
3、給料其他ハ委細面談
合名會社　平、四倉乘合自働車
平四丁目　電五九四

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板、ベニヤ板、建具材、木羽、便利瓦、建築木材一式
製材工場　磐越東線赤井驛前
（大作場二五）電話二三五番
㋐織田材木商店
福島縣平市　電話平四六〇番

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者　強口唯七郎
自動車部　電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

國は一ニッポン・魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣　平製氷會社（電二二八・三二六）
タヒ　甘鯛
エビ　マナ鰹
白魚　帆立貝柱
冷カツノコ　ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
平代理店　四丁目　ト印魚問屋　電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

開院
內科、小兒科
正木醫院
醫學博士　正木信功
六丁目（五丁目交番隣）
電話四三九番
入院隨意

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
森藤
電話三七〇　振替仙臺一五〇一番
〔森藤事務用器商會〕

外科、內臟外科、エツキス光線科
院長　安齊徹
入院隨意
平市田町
安齊醫院
電話四七五番

開院
外科一般
內臟外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科
平市南町（平郵便局本局裏通り）
院長　上田耕作
上田外科醫院
電話一二九番

『旨い』と一言にして盡く
神戶牛
すき燒
相始め申候
日本料理　山茶莊
電話五二〇番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正
平市田町（電話六一三番）
藤田女學校前

「入院のお需めに應ず」
（看護婦及ビ見習看護婦募集）
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
鈴木醫院
內郷村高坂、磐炭病院前

御婚禮着付
和洋結髮
パーマネント・ウエーブ
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
（徒弟入用）

硝子類一式實用價販賣
菓子壜、美術食器
板ガラス、陳列ケース　各種
平市一丁目
薄ガラス店
◎窓硝子スピード修理致します

郷土の屋根！を縦走
時局下の心身を練成
來日曜平山岳會の壯擧

松野尾辯護士らを中心とする平山岳會では來る十九日の日曜を卜し平營林署野々沢正一、小貫安壽兩氏をリーダーとして郷土の屋根と云はれる、躑躅や藤の花盛りな二つ石、三大明神、湯の岳の尾根を縦走し、前記リーダーや學校教員から關係地域の地質、地形、人文地理、植物等に就て說明を受け乍ら体と心の鍛錬に初夏の一日を極めて有意義に過ごすべく、目下同志を募つて居るが參加希望者は前日午前中迄に松野尾氏宛に申し込まれ度いと

當日午前六時二十分迄に二丁目三井車庫集合同三十分發行きバスにて出發。辨當、水筒、副食物若干「平」五萬分の一地圖を携帶すること

コースは徒歩區間約二〇粁

平―バス。一〇粁―成澤―徒。六粁―三大明神―徒―二ツ石山―徒（戻）以上七粁―三大明神―徒。五粁―湯ノ岳―徒。四粁―小野田―徒。四粁―湯本―汽車―平。平着六時一四分（解散）

けふ縣政功勞者表彰
地方では野崎、木村兩氏

縣では十七日府縣制發布五十周年記念日に當り午前九時から縣教育會館で橋本知事より縣會議員勤續十ケ年以上の功勞者二十六名の表彰式を擧行したが、うち地方關係は共に十二年勤續の市內野崎湖廣（六〇）入浦村木村滑治（七二）の兩氏である

△野崎氏 昭和二年以來三期、人も知る市會議長で物に當つて熱心な人

△木村氏 明治四十四年以來三期、大浦村長、同村信用組合長

徵稅吏員會議
山野邊課長出席

十七、八兩日に亘り開催中の第十三回縣下四市徵稅吏員會議に市から山野邊財務課長が出席した 市からの提出案左の如し

一、稅制改正の結果市の獨立稅として賦課すべき自轉車稅及びその他につき各市の取扱方法承りたし

一、獨立稅の賦課期日（市民稅を除く、）を如何に定むべきや各市に於ける御見込み承りたし

一、獨立稅の賦課額如何程に定むる御見込みなりや各市の御意見承りたし

一、市稅徵收外勤員の事務取扱方に關し詳細承りたし

一、防空訓練に於ける私設消火栓使用料に關し各市に於ける實例承りたし

一、納稅組合に對する奬勵金額並に支給方法等承りたし

一、藝妓稅は本人に直接賦課せらるゝ方針なりやまたは組合と協定置屋または組合に一任賦課せらるゝ方針なるや各市の御意見承りたし

謠曲で歡迎慰勞
同好者が谷口に會合
上田耕作氏を犒ふ

市內觀世、喜多、寶生の謠曲同好者は上田耕作醫師の無事歸院を祝福する爲、明後十九日午前九時から谷口樓に於て歡迎慰勞の謠會を開催するが會費一圓、番組次の如く多數參加を歡迎すると

素謠（觀世流）竹生島（平觀世會）田村（川前田村觀世會）杜若（好謠會）、俊寬（平觀世會）小鍛冶（松韻會）番外。安宅（上田耕作外）仕舞。熊野、天鼓、菊慈童 素謠（寶生流）。葵上、船辨慶 素謠（喜多流）。鞍馬天狗 連吟羽衣

仕舞。猩々、葛城、玉の段、清經、通小町、

燈管具を整備せよ
防空訓練實施

本年度第一次防空訓練は來月七日から十三日まで一週間に亘り實施されるが今回は燈火管制、警報傳達、防空監視通信に重點を置くもので特に長期間の警戒管制を實施するので今まで[illegible]うに管制用具の一時間に合せのものを使用することな[illegible]用具整備の徹底をはかるやう要望されてゐる

便利になる鐵北方面
仲間町郵便局開設近づく

元平署巡查部長渡部齊氏を初代局長とする市內仲間町三等郵便局は既報の如く去る九日上棟式を濟ませ愈よ來月十二日から店開きする同局は城山を除く鐵北約五百戸と中塩、鯨岡、大室方面約百五十戸を管轄區域とするもので局員は渡部氏外二名、無集配外一般郵便事務を取扱ふ

濃艷使節を送る
北滿行の美形連に
十八日市で壯行會

前後四十日の日程を以て北滿を行脚する平藝妓置組合の慰問部隊

花柳登代藏、杜屋十茂代林家濱藏、吉野家金太郎開花歌丸、品澤わくぼ、金榮〆子

の一行七名はアトラクションづくめ盛り澤山の番組を編成、過般來夫々準備中の處愈よ來る二十二日出發、現地に向ふ事となつたので市では明後十八日午後一時から公會堂日本間で試演を行ひ四時から壯行會を催し一路平安を祝福することゝなつた

〇五作踊、忍ぶ踊（郷土民謠）炭礦節、大漁節、相馬二編返シ、會津磐梯山、愛國進軍歌、〇〇節、笠の踊り、軍國子守歌、風流部隊、獅子と蝶、白虎隊、浦島、手習娘、健國音頭、紀元二千六百年

中の作浚渫工事認可願
江名町 中の作

中の作港の第二期浚渫工事（九萬圓）は千萬面水深三米とし大型漁船出入し得るやう十六日地元から縣へ認可方を願ひ出た

小名濱港工事促進

二十日から二十三日まで縣で開かれる本縣主催東北六縣港灣聯盟總會に小名濱港第一期工事促進の件が協議される

炭礦節や一遍返し
慰問演藝番組決る

前記慰問團のご披露に及ぶ演藝番組は左の如く全部前線向きのもの、ばかりで郷土色豊かな炭礦節や大漁節に郷土出身の兵隊さんを勇み立たせようという方法である

愛國行進曲、からどき節屋、露營の歌、滿洲娘、チョンマゲ道中、柳の雨

外科部を新設
令息亨博士を迎へて
松村病院陣容成る

市內南町松村病院長松村鐵郎氏令息醫學博士松村亨氏は此程桐生病院を辭して歸郷 組 高知縣時代鳴らした外科部を復活新設し今十七日から父君を扶けて內臓外科、腦脊髓病外科並びに胃癌等の手術を普く行ふことになり土地生え拔きの新進醫博として大に將來を期待されて居る

氏は磐中第二十六回卒業生（大正十五年）岩手醫專を經て名古屋醫科大學外科教室に於て斯界の權威齊藤博士の秘藏つ子として研究中輸血療法に關する新發見により弱冠夙くも學位を得た杏林の俊髦で令閨は湯長谷藩の家柄德田第一校長の息女である

六十二名の大量合格
市內南町 平産看校の成績

本縣の今年度第一回看護婦試驗結果は此程發表され市內南町清野きよ女史經營の平産婆看護婦學校卒業生中合格者左記三十五名で茨城縣に於ける同二十七名と併せ合計六十二名合格の好成績であつた

佐藤キヌ子 猪狩サダ 村山ちよ 高岡ナミ 細貝ヨシ 萩野キヨ子 大竹イサヲ 遠藤ふく 小野澤キミ 小林キヨノ 大森ウメノ 遠藤好子 矢內歌子 中目まさ子 高橋輝子 平澤ミツイ 梅原ヨシイ 佐藤キミ 今ミヨ 根內チヱ子 佐藤トクヨ 秋山今朝子 三浦ツネ 佐藤ミヱ 半谷スミ 古谷知惠子 永山嘉恵子 田子二子 渡邊ツネ 片寄キヨ子 吉田ミナ 吉田綾子 渡邊瀬子 吉田マサ 小田イマ

これは凄いぞ
一萬兩―評價された枝垂楓
湯本町水野谷 逸物

これは豪勢な！大がゝまりの古木、ためか一枚一萬兩と評價されその名と今日でもその姿態變らず、齊華鬱蒼として生ひ茂つてゐる わた特超豪華珍樹「枝垂楓」の話……

湯本町から小名濱町に通る街道から東に小一町、湯本町水野谷字亀尾の某農家の庭先にある推定樹齢三百年の枝垂楓、場所柄これ迄傑出の知…も少かつたが磐城炭礦小名濱坑の開設から移り住む人も多くなり最近頓に道行く人の足を止めてゐる

幹周り八尺、高さ一丈二尺餘り絶妙風雅の姿態捨て難くその道の目利きから何と一萬圓の折紙がつけられてゐると この枝垂楓は先代が幼少の頃木登りして遊んだといふ

平市慶弔録

△出生 紺屋町四四滿洲國奉天市大東五奉天衛五柳下重男氏時弘君

○婚姻 東京市王子區岩淵二丁目一九五間宮春雄氏（三九）と鍛治町二一増井マサさん（二四）

賀佐伯病院完成
珠雲 小野務平

土木工成一廓開
規模宏壯且雅鬼
豈唯傑閣輪奐美
長夕乞治入四來

溜池工事竣功

市內平窪方面の水田を潤す上平窪鼠田地內の溜池工事は此程竣工、市では二十一日委員と共に竣功檢査を行ふ

慰問袋寄託

平第二小學校六ノ二生一同で慰問袋二個を市役所へ寄託した

拈華微笑

日常仰ぐスカイラインを鐵脚に縱走する平山岳會の快擧

□

一の實行は寢ころんで語る百の健康增進デーに優ること萬々

□

水野谷の枝垂れ楓に一萬圓の折紙。買ひでが附けば大したもの

□

無事に勤めを果して還つてきさふらふづるにてさふらふ！と上田國手の歡迎慰勞謠曲會

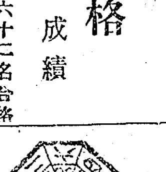
□

苗代季に有り勝ちなつての寒さ。あひぎでは嘘が出さうな今日の氣溫

十八日

【小名濱測候所觀測】 滿潮 前一、五五 後〇、五五 干潮 前七、四五 後七、四五

土曜 新五月十八日 舊四月 辛酉 先負 二十日 定 柳宿



▲一白 計畫のみ大にして實蹟の之れに伴はざる日▲二黑 目前の大利を見ながら手出しの出來ぬ日▲三碧 至誠を以てすれば何事も順調に運び行くべし▲四綠 出先きをつゝしめば他は順調にて心配はなき日▲五黃 外事にのみ熱中するときは內は空虚となる▲六白 午前の苦は一時のこと午後は樂となるべし▲七赤 調子に乗り過ぎるときは意外の失敗あるべし▲八白 氣の迷ひを去らざれば進行愈々にぶり來るべし▲九紫 破れをふくむ日增資普請旅行等は見合すべし

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩 北西の風 曇後晴

明日 北西の風 曇

陣中を聽く
（765）

今後更に頑張るから銃後も御奮鬪を願ふ
市內田町出身 鷺廣次君（通信）

拜啓 小生生來の不精から思ひ乍らも中々手が附かず御無沙汰致しまして申譯御座いません。御一同樣には銃後御繁忙の折にも拘らず益々御健勝にて御奮鬪の由我々一同感激に堪へません。お蔭樣にて小生益々元氣、出動以來茲に〇ケ〇本日に至る迄何等の事故も無く軍務に精勵致し居りますれば他事乍ら御安心下さい。新聞紙上にて拜見し致ますに現內外の情勢も愈よ多事多端の如く吾々將兵の責務も亦極めて重大を加へつつありますれば今後永く皆々樣に御後援お願ひすると存じますが何卒宜しく。本日皆樣御承知の中央新政權樹立記念日のため休養を頂きまし、戰友らは同じ樣故郷人の便りで夢中です。第一線の自分らも益々頑張りますから銃後の皆々樣も充分御体を御大切になされまして御奮鬪あらんことを御願ひ致します。

再び戰線に
元磐中教諭 庄司政之少尉

謹啓愈々春暖の候益々御清榮の段慶賀の至りに奉存上候。さて私事負傷入院の際は非常なる御心配を相かけ申し居り候處お蔭樣を以て其の經過頗る順調此程治癒退院仕り候間何卒御安心下され度願上候。尙今後は一層の奮鬪努力を致し御期待に副ひ度き覺悟に御座候。先は謹みて御禮申上度候

再び戰線に活躍し得る樣になりましたから御安神下さい。留守中は何くれと非常に御世話樣になります。ほんとうに御禮申上げる言葉もありません。

盡忠の誠を
市內下河原出身 木村光義君

拜啓、其後皆々樣お變りございませんかお伺ひ致します。小生入隊以來益々元氣にて軍務に服しております。（他事乍ら御休心下さい）小生先般大命に接し〇〇に無事到着致しました。此の上は粉骨碎身以つて盡忠報國の誠を致し重任を完うすると共に皆樣の御期待に副ひたい念願でおります。取敢ず右お知らせまで敬具

外科一般
內臟外科 肛門病科 皮膚科 泌尿生殖器科（婦人科性病科） 專門
（入院隨意）
白土醫院
平市字鍊田町 電二七九
看護婦及見習看護婦募集

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 體溫器 寒暖計
秤ノ取締 理系・計器 鑑致シマス。
關內藥局 電話四〇番

御挨拶
本月より純食堂になりました、階上は數寄屋風の御座敷に改築致しました。
御家族御一同樣に商談、會食等に御利用下さいます樣御願申上ます
平市 金春 電話六六六番

五月人形
二千六百年を强調する
◆尙武日本の お節句!!!
▽勇ましい武者人形△
▽鯉のぼり△
▽甲冑類△
各種豐富に取揃候
平市二 フクタヤ祝品部

內臟外科 泌尿器科 レントゲン科
北川外科
◎入院隨時
醫學博士 北川芳夫
平市新川町〔電四六四番〕

舌代
昨夕近火の際は早速御馳けつけ被成下種々御高配を被り難有感激の至りに存じます、乍略儀不取敢以紙上御厚禮申述べます
五月十七日
平市白銀町 川又商店 川又章二